

日本数学会教育委員会主催シンポジウム

数学の新課程での入試を考える

いよいよ 2015 年の入試から、新学習指導要領で学んだ高校生が受験します。新しいカリキュラムになって範囲はどうなるのかについて詳しく知りたい方も多いでしょう。また、以前からの問題として、数学の採点基準はどうなっているのか、受験生の答案から何を読み取っているのか、公平性に関する考え方など、聞きたいこと話したいこともたくさんあるでしょう。

このような疑問・要望に真摯にこたえていくことも、大学の数学教員が多数会員となっている日本数学会の果たすべき役割の一つです。

また、カリキュラムが「ゆとり」から転換したとはいえ、大学生学力調査の結果は、まだまだ前途多難を思わせます。数学の入試は今後どうあるべきかを考えていくことも重要です。

日本数学会教育委員会では、こういった問題を広く話し合う場としてシンポジウムを開催いたします。質疑応答と討論の時間も設ける予定です。数学者、数学教育関係者だけでなく一般市民のみなさまのご参加も歓迎いたします。

日時：9月22日（土）10時00分～12時00分

場所：九州大学 伊都キャンパス・センター2号館3階 2303講義室

プログラム：

開会挨拶：宮岡 洋一（日本数学会理事長 東京大学）

パネルディスカッション

パネリスト（50音順）

梶原 健司（九州大学）

坪井 俊（日本数学会前理事長 東京大学）

森田 康夫（日本数学会元理事長 東北大学）

司会

岡部 恒治（埼玉大学）

総合司会 宇野 勝博（教育委員会委員長 大阪教育大学）

参加費：無料